

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和3年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
幌加内町	簡易水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 ●
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

単純に上記の方法では、中長期的に見てもメリットがあまりにも少ない点です。民営化等を行おうにも町内に一つの事業を抱えられるほどの企業もないですし、本町のような小規模自治体の水道事業を請け負おうにもあまりにもメリットが少ないように感じます。結局民営化を行っても他の国で起こっているような再民営化の道を辿ると思います。総務省としてどのようにして民営化にメリットが大いにあると考えているのかが正直見えてこない状況なのではっきりと示してもらえればと思います。広域化については、北海道の地形等を考慮すればハード面での広域化は一部の平野部を除いてほぼ不可能に近いと思いますので、主に検討していくのはソフト面であると思いますが、道から示されたシミュレーションを基に少しずつでも検討を進めていければと思います。